【特別講演Ⅰ】

「消化器内視鏡技師の知識と技術を発揮する働き方
～看護師とのタスクシフトの現状～」

講師　国立がん研究センター中央病院　内視鏡技師
山田　雅子
座長　琉球大学病院　　光学医療診療部
金城真由美

当内視鏡センターは、上下部消化管治療内視鏡総数6,100件のハイボリュームセンターである。管理しているスコープは、上部下部合わせて160本以上で、洗浄機12台、内視鏡システムは24台、高周波装置は11台と多く、機器の管理は非常に手間がかかる。看護師22名のみでは、日々の業務を行いながらの機器の管理が不十分であったため、2018年４月より看護師とは別に内視鏡センターに内視鏡技師枠を設け、現在では看護師、臨床工学技師合わせて６名で、主に内視鏡検査・治療の介助、機器の日常点検、管理、トラブル対応などを行なっている。

現在海外では、医師に代わり直接内視鏡操作をするNurse endoscopistが活躍している国もあり、プロフェッショナルの実践と役割を考慮に含めながら、当院での消化器内視鏡技師としての働き方を紹介する。

連絡先　〒104-0045　東京都中央区築地5-1-1
TEL 03-3542-2511（内線2057）
施設名　国立がん研究センター　中央病院
山田　雅子